

大野市文化会館整備基本構想【概要版】

(1) 策定の趣旨

現在の文化会館は、音楽や伝統芸能、演劇などの発表や練習の活動の場としてだけでなく、結婚式場としても多くの市民に愛され親しまれてきましたが、時代の変化に伴い、結婚式場としての貸し出しはなくなり、文化芸術の拠点として利用されています。

また、文化会館の施設維持については、昭和61年の大規模改修工事を始め、舞台裏倉庫などの増築や音響設備のデジタル化を行ってきましたが、空調などの各設備や音響などの各機器の経年劣化は進んでおり、さらに耐震性の問題や駐車場不足なども指摘されています。

このようなことから、大野市教育委員会では、平成25年に市民や文化会館利用団体へのアンケート調査の実施、平成26年に文化会館の在り方と今後の方向性についての検討を行ってきました。平成28年7月には、「大野市文化会館整備基本構想策定委員会」を立ち上げ、様々な観点からご意見を賜りながら、基本構想の検討を進めてきたところです。

本基本構想は、文化芸術の振興を通して、多くの市民の心の豊かさを育むとともに様々な文化芸術に携わる人材の育成や文化交流の活性化を図り、結の故郷越前おおのの文化の継承と創造の中心としての役割を担う文化会館の整備を目的としています。

(2) 現文化会館の概要

概要	<ul style="list-style-type: none">施設の名称：大野市文化会館（～平成8年まで大野市民会館）建設年：昭和40年（昭和41年6月開館）敷地面積：5,981.97㎡（市有地）構造：RC造（鉄筋コンクリート）一部SRC造3階建延べ床面積：3,161.03㎡ 1階（1,951.83㎡）、2階（1,022.24㎡）、3階（186.96㎡）大ホール客席数：客席627席、障害者用6席 合計633席その他諸室：研修室、こぶしの間、けやきの間、名水の間、鳳凰の間、うぐいすの間、亀の間、鶴の間、応接室建設費：1億6千万円駐車台数：97台
管理運営状況	<ul style="list-style-type: none">管理運営：大野市開館時間：午前9時～午後9時30分休館日：毎週月曜日（ただし、月曜日が祝祭日の場合は開館） 年末年始（12月29日から翌年1月3日）

(3) 基本理念及び基本方針

裏面の「大野市文化会館整備基本構想骨子」参照。

(4) 建設地

新しい文化会館の基本理念、基本方針の実現に向けて、利便性、早期性、安全性、経済性、用地の確保、市街地活性化他施設との連携性、法規制などについて、総合的に検討し、**現文化会館に隣接する駅東公園に新しい文化会館を建設し、現文化会館跡地に駅東公園を整備する方法を選定**いたしました。

(5) 施設構成

本施設に備えるべき機能を踏まえ、役割を果たす具体的な施設の以下のことについて検討します。

【ホール部門】

大ホール：質の高い優れた文化芸術に多くの方が触れることができるよう**最大1,000席程度とし、二階席やサイドバルコニー席の設置など、催しによって空席感を感じることのないホール**とします。また、それぞれの催しに適切な残響（響き）を創り出せる機能の設置も目指します。客席から舞台までは、演出や演技が見やすい距離とします。

客席：客席は固定席で、スロープ式に段差をつけた構造とし、ゆとりある**座席間隔を確保**します。また、**車椅子席や親子室などの配置**も含めて、誰もが安心して鑑賞できるようにします。

舞台：伝統芸能、演劇、音楽、コンサート、大衆芸能、講演会などに利用可能な**プロセニウム形式の舞台**を目指します。舞台の大きさは、舞台利用者が余裕を持って利用でき、**幅広い演目に十分対応**できるようにします。（現文化会館の舞台間口14.2m、奥行11m以上）また、舞台袖も十分な広さを確保するとともに、**花道やオーケストラピット**についても、催しの内容によって対応できるように設置します。

ホワイエ：観客が開演前の時間や休憩時間に憩うことのできる空間を確保できるようにします。大ホールが利用されていない時は、市民が気軽に集える交流の場として自由に利用できる空間とします。

トイレ：公演中の休憩時間に**余裕を持って使える便座数を確保**します。また、おむつ替えが出来る機能やお母さんが安心して利用できる授乳室も確保します。

技術諸室：音響調整室や調光室、投光室、映写室などの技術諸室を設置します。

【バックヤード部門】

練習室：優れた**防音機能を備える**とともに、文化芸術活動団体などが練習しやすいように**舞台と同じぐらいの広さを持った練習室や、少人数の団体が利用しやすい広さの練習室**などを確保します。また、リハール室や会議室と兼ねられるような部屋とします。

楽屋：十分な室数と広さを確保した楽屋を設置するとともに、舞台へのアクセスに配慮します。

備品庫：十分な広さの備品庫を設置します。

ピアノ庫：コンサートピアノなどを保管するための倉庫を設置します。

搬入口荷捌き：舞台に段差なく機材が搬入できる搬入口を設置します。なお、**荷捌きスペースは大型トラックが横付け可能**で、雨や雪の影響を受けないよう屋根付きとします。

【共用部門】

エントランスホール：芸術文化活動団体などの交流が出来るとともに、結の故郷越前おおのの雰囲気が感じられるようなエントランスホールや

誰もがくつろげる喫茶コーナーなどを設置します。

情報コーナー：情報コーナーなどを設置します。

管理事務室：施設全体の維持管理のための管理事務室を設置します。

駐車場：業務用と施設利用者用として**必要な駐車台数を確保**します。

施設全体：**ユニバーサルデザインに配慮**するとともに、**まちの景観やランドスケープデザインに配慮**した施設とします。

防災機能：**避難施設機能の設置や災害時の救援物資集積場として利用**できるようにします。

環境負荷低減：**環境に配慮した緑化や雨水、太陽エネルギーなどを利用**した施設整備を目指します。

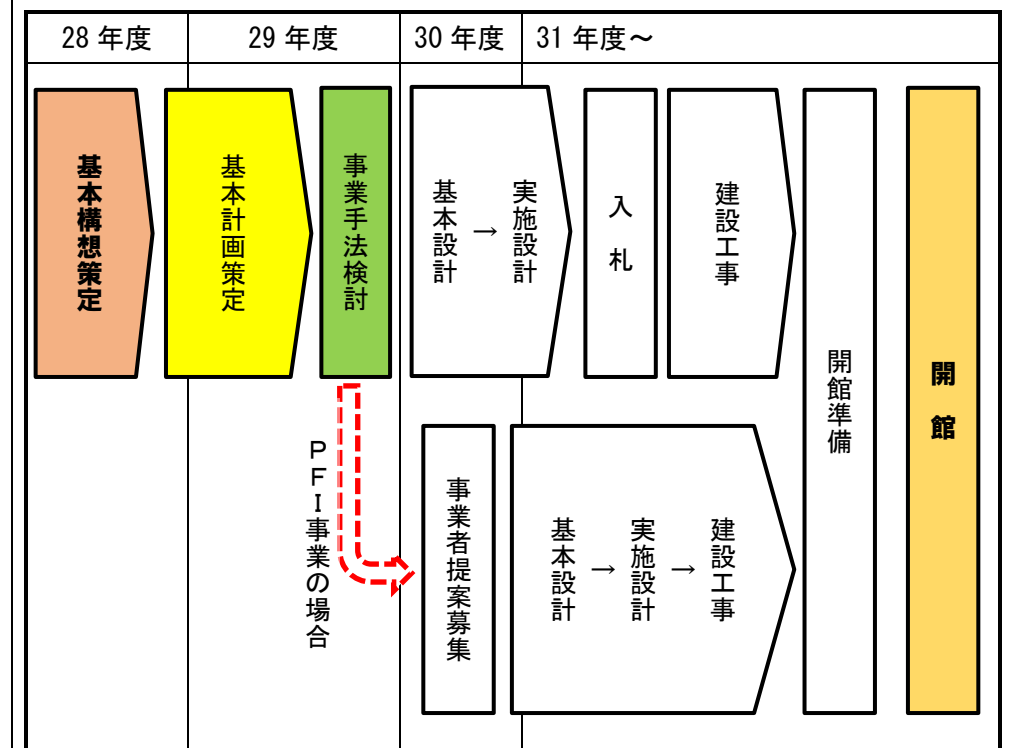
(6) 管理運営の方針

今後整備する文化会館の管理運営の方針を次のとおりとします。

- ①市民との協働に向けた仕組づくり
多様な**市民活動団体**が、**施設運営に関わる仕組み**を検討します。
- ②専門性の確保
高い専門性を備えたスタッフを確保するとともに、文化芸術の向上に資する体制の構築を検討します。
- ③ライフサイクルコストの縮減
ランニングコストを加えた**ライフサイクルコスト全体の縮減に向けた取り組み**を推進します。

(7) 整備スケジュール

新しい文化会館の整備について、現在想定しているスケジュールは以下のとおりです。



(3) 大野市文化会館整備基本構想骨子

